



# ようねんぎだより

令和2年2月14日（金）NO. 4



## 幼保小中の交流



牟呂小学校では、近隣の明照保育園と三郷保育園の年長児を招いて、2月に交流会を行っています。1年生の担任が計画を立てるので、年によっていろいろですが、学校を案内したり、昔遊びをしたり、手作りのおもちゃを作って遊んだりしています。小学生になってできるようになったことを発表する会を行うこともあります。



【園児との交流会スタート】



【できるようになったよ発表会】

1年生の子どもたちは、お兄さん

お姉さんになった気分で大はりきりです。園児も学校の中の様子がわかったり、1年生と仲よくなったりすることができてとてもうれしそうです。教員と保育士も子どもたちを見ながら情報交換することもでき、有意義な会になっています。

また、牟呂中学校の3年生が家庭科の授業の一環として明照保育園を訪れ、園児と交流する日もあります。思春期を迎え、受験を控えた中3生も小さい子とふれ合うことで、普段見られないような生き生きとした表情を見せています。幼かった頃のことを思い出し、改めて自分の成長を感じることもあるようです。

牟呂校区では、乳児から中学生までがかかわり合いながら交流を深めていくことで、地域が一体となって子どもたちの成長を見守り、育てていく環境づくりに取り組んでいます。幼保小のなめらかな接続を目指して、お互いに情報を共有しながら連携して子どもたちを育てています。

毎年、5月には出身園の先生方と情報交換をする会も設けています。牟呂小学校には、10以上の園から入学してくるのでたくさんの先生方が授業参観に参加していただきます。小学校に入学して、1か月たった子どもたちの気になるところを園の先生に尋ねたり、今までの育ちを共有したりする中で、子どもたちのよりよい成長の一助となっています。



【ペアになって昔遊びを楽しみます】

# 幼児教育から小学校教育へのなめらかな接続をめざして










**幼児教育** ～「遊び」を「学び」につなげる保育の展開～

段差を小さくするために

- ①遊びから教科学習へとつなげる
- ②人とのかかわりあいを広げ、深める

**小学校教育** ～「わかった」「できた」を大切に授業づくり～

## 児童期につながる『育ってほしい10の姿』

生活する力 自分のことを自分で めざし、めざす。	<b>健康な心と体</b>  <ul style="list-style-type: none"> <li>●体を動かす心地よさを味わう。</li> <li>●みんなと一緒に食べることを楽しむ。</li> <li>●自分の体を大切に、安全に行動する。</li> <li>●時間を守る大切さを知り、時間的な見通しをもって生活をする。</li> </ul>
	<b>自立心</b>  <ul style="list-style-type: none"> <li>●規則正しい生活が必要なことを知る。</li> <li>●衣服の着脱、身の回りの物の始末をする。</li> <li>●難しいことでも自分の力でやってみようとする。</li> <li>●うまくいなくても、あきらめずに繰り返し挑戦する。</li> </ul>
かかわる力 身近な人にかかわろうとする、 よいこと悪いことがわかり、 自分もよくなる。	<b>協同性</b>  <ul style="list-style-type: none"> <li>●友達と一緒に行動し、気持ちを共感する。</li> <li>●友達と共通の目的に向かって力を出し合い、やり遂げた達成感を味わう。</li> <li>●協力することの楽しさやおもしろさを実感し、自分も友達も満足できるように工夫する。</li> </ul>
	<b>道徳性・規範意識の芽生え</b>  <ul style="list-style-type: none"> <li>●ルールや約束の大切さを知る。</li> <li>●よいことと悪いことがあることに気付き、考えて行動する。</li> <li>●友達と折り合いをつけ、自分の気持ちを調整する。</li> <li>●「ありがとう」「ごめんね」が言える。</li> </ul>
	<b>社会生活とのかかわり</b>  <ul style="list-style-type: none"> <li>●様々な人と触れ合い、相手の気持ちを考えてかかわろうとする。</li> <li>●人の役に立つ喜びを感じる。</li> <li>●みんなで使うものや施設を大切に使う。</li> </ul>
学ぶ力 おもいやりと助け合い、 自分から取り組む。	<b>言葉による伝え合い</b>  <ul style="list-style-type: none"> <li>●自分の思いや考えを言葉で伝え、思いが伝わる楽しさや喜びを感じる。</li> <li>●相手の話をよく聞いて理解したり、共感したりする。</li> <li>●伝える相手や状況に応じて、言葉の使い方や表現の仕方を変え、言葉による伝え合いを楽しむ。</li> </ul>
	<b>思考力の芽生え</b>  <ul style="list-style-type: none"> <li>●考えたことを試したり、工夫したりする。</li> <li>●友達の考えを知って、さまざまな考えがあることに気づく。</li> <li>●新しい考えを生み出す喜びや楽しさを味わう。</li> </ul>
	<b>自然とのかかわり・生命尊重</b>  <ul style="list-style-type: none"> <li>●自然に触れて感動する体験をして、自然の変化を感じとる。</li> <li>●自然物からイメージを膨らませることを遊びに取り入れる。</li> <li>●生き物への愛着を感じ、生命を大切にする。</li> </ul>
	<b>数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚</b>  <ul style="list-style-type: none"> <li>●身近にある数字や文字に興味をもつ。</li> <li>●遊びの中で、物を数えたり、形を組み合わせたり、同じ形の文字を発見したりすることを楽しむ。</li> <li>●絵本や物語に親しむ中で、文字が言葉を伝えていることが分かる。</li> </ul>
	<b>豊かな感性と表現</b>  <ul style="list-style-type: none"> <li>●さまざまな体験を通して、喜びや感動、驚きを味わう。</li> <li>●身振りで表現したり、楽器を鳴らしたり、クレヨンや絵の具を使って表現したりすることを楽しむ。</li> <li>●自分が感じたことを、自分なりに表そうとする。</li> </ul>

○様々な出来事を通して、うれしい、悲しい等の多様な感情体験を味わい、友達との関係を深めていきます。



○遊びを通して、子どもの「○○したい！」という気持ちを引き出していきます。



幼児期に育みたい資質・能力である「知識及び技能の基礎」「思考力、判断力、表現力等の基礎」「学びに向かう力、人間性等」は、小学校以降にもつながる3本の柱の基礎の部分であり、それが育まれてくると表れてくる姿です。これらの姿は、幼児期にふさわしい遊びや生活を積み重ねることで育まれていきます。